

改定履歴

バージョン	提供日	変更点
Ver.1.0	2021/11/12	初版
Ver.1.1	2023/06/30	連絡先情報の更新

安全上のご注意



この度は、MFP62 をご購入いただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。


本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みになり、内容をご確認のうえにご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分にて説明します。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取り扱いをしたときに軽傷または建築物・財産などの損害に結びつくもの。

本取扱説明書内に使われている記号(例)の意味は下記の通りです。

	操作に関するヒントまたは追加情報です。
---	---------------------

**警告**

- 本製品は屋内での使用に限ります。
- 本取扱説明書で記載されている以外の使い方をしないでください。本取扱説明書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止し、販売店または弊社カスタマーサービスにご連絡ください。
- 本製品および、使用するケーブル類を他の高温部(暖房機器など)に近づけないでください。変形したり、保護部が溶けたりし、感電や火災の恐れがあります。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、すぐに使用を中止してACアダプターおよびご使用のすべてのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。
- AC アダプターを抜き挿しする場合は、必ず挿入部を持って抜いてください。コードを引っ張って抜いたりすると、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。

**警告**

- 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。また、科学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。水洗いは絶対に行わないでください。変色や変形、故障の原因になります。汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けてよく絞ってからふき、その後乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 本製品は安定した場所に設置してご使用ください。不安定な場所から落としたり、ぶついたりするなどの衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のためACアダプター、ケーブル類を全て抜いて保管してください。火災や故障の恐れがあります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所(結露しているところ)、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。

**注意**

- ACアダプターの取付け取外しの際は慎重に作業を行ってください。機器の故障の原因となります。
- LANケーブルは、電気ケーブル、変圧器、照明器具などの電波干渉の発生源となりうるものから、できるだけ離れた場所に配線するようにしてください。また、これらのケーブルは、電線用導管などに接続したり、電灯設備の上に置いたりしないでください。
- 本製品を密閉された場所、屋外での使用や、長時間の連続使用は避けてください。
- ACアダプターは専用品です。他社製品はご使用になれません。
- 本製品両側の排熱口を塞がないようにしてください。排熱がうまくいかずに故障する恐れがあります。また、排熱口を定期的に掃除してください。

**注意**

- 本機に接続するケーブルには抵抗入りケーブルを使用しないでください。
- 本製品を譲渡された場合、または中古品に関してのサポートは致しかねます。
- 外部的な要因(破損や水没、漏電、過電流など)や、天災などによる故障破損は、サポート対象外です。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。内容については、各地方自治体へお問い合わせください。
- 電源を入れたまま、ケーブルの抜き差しを行わないでください。損傷の原因になり、この原因による故障はサポート対象外となります。
- 本製品を分解されますと保証の対象外となりますのでご注意ください。

※製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

改定履歴	2
安全上のご注意	2
製品概要	6
製品特長	6
各部名称	7
入出力フォーマット一覧	9
入力フォーマット一覧(EDID)	9
出力フォーマット一覧	10
接続図	11
基本の操作	12
電源を入れる/切る	12
本体前面ボタンで操作する	13
出力フォーマットの設定	13
入力 EDID の設定	13
入力ソースの切替	14
出力音声の音量調整	14
オーディオエンベデッドのオン/オフ切替	14
出力音声のミュートオン/オフ切替	15
マイク入力の設定	15
ネットワーク設定の確認・変更	16
その他設定メニュー	16
IRリモコンで操作する	18
ウェブ GUI で操作する	19
ウェブ GUI へのログイン	19
入力ソースの切り替え	20
入力 EDID の設定	21
出力の設定	22
出力フォーマットの設定	23
入力マイクの設定	24
その他の設定	25
RS-232 で操作する	29
シリアル通信設定値	29
RS-232 及び Telnet コマンド	29
システムインフォメーションコマンド	29
システムコントロールコマンド	31
入出力コントロールコマンド	31
音声コントロールコマンド	33
ネットワーク設定コマンド	34
Windows PC での Telnet 通信を行う前の設定	35
PC の設定 - TFPT & Telnet を有効にする	36
PC の設定 - IP アドレスの固定方法	37
FAQ よくある質問	39
主な仕様	40
外形寸法	41
ラックマウント取付方法	41
サポート専用問い合わせ先	42

製品概要

MFP62 は、HDMI x 3、USB-C x 1、DisplayPort x 1、VGA x 1 の多様な入力端子、および HDMI x 2 の出力端子を搭載した 4K UHD マルチフォーマットプレゼンテーションスイッチャーです。

製品特長

- HDMI(3 系統)、DP1.2、USB Type-C、VGA の多様な入力端子
- スケーラ搭載 HDMI 出力端子 x 2 系統
- 最大 4K UHD 60Hz 4:4:4 までの解像度に対応※
- HDMI オーディオフォーマットに対応
(Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、DTS-HD Master など)
- オートスイッチ(自動入力切替)機能
- オーディオエンベデッド/ディエンベデッド機能
- マイク音声ランプ・アップ/ダウン(徐々にソース音量を上げ下げする)機能
- 48V ファンタム電源供給※
- 本体ボタン、IR リモコン、ウェブ GUI、RS-232 での制御
- EIA ラックマウント 1U 取付(取付金具付属)

※ USB Type-C は DisplayPort1.2Alt モードに対応しています。USB Power Delivery (PD)非対応。

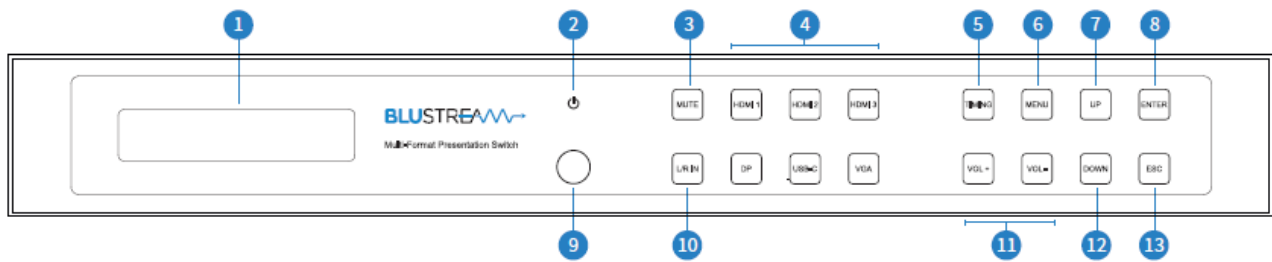
※ 外部音声入力は 3.5mm ステレオミニジャック、もしくは 3 ピンターミナルブロックのどちらか 1 つのみ入力できます。本体背面のマイク入力モード切替スイッチで切り替えを行います。

※ 外部音声入力の 3 ピンターミナルブロックを使用する場合は、付属の 3 ピンターミナルブロックアダプターを加工してご利用ください。

※ HDMI、DisplayPort1.2、USB Type-C 端子は最大 4K UHD 60Hz 4:4:4 フォーマットに対応しています。

各部名称

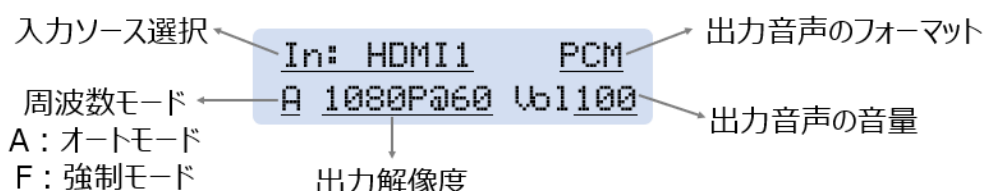
前面



番号	表示・アイコン	操作方法
①	-	ディスプレイです。ステータス及び操作メニューを表示します。
②		電源タッチボタンです。約 2 秒間長押しで本機を電源オン/オフします。 電源オン:青色に点灯
③	MUTE	ミュートボタンです。HDMI 1/2 出力端子の音声出力をミュートします。もう一度押すと、ミュートを解除します。 ミュートオン:オレンジ色 ミュート解除:青色に点灯
④	HDMI 1/2/3 DP/ USB-C / VGA	ソース選択ボタンです。 選択されているソース:オレンジ色に点灯(他は青色に点灯)
⑤	TIMING	出力フォーマット設定ボタンです。【TIMING】ボタンを押すと、出力フォーマット設定メニューがディスプレイに表示され、【UP】【DOWN】ボタンでフォーマットを選択し、【ENTER】ボタンで設定を確定します。
⑥	MENU	設定メニューボタンです。【MENU】ボタンを押すと、設定メニューがディスプレイに表示され、【UP】【DOWN】ボタンで項目を切り替え、【ENTER】ボタンで設定を確定します。
⑦	UP	前のメニュー(操作メニューまたは出力フォーマット)項目に戻ります。
⑧	ENTER	確定ボタンです。メニュー操作、出力フォーマット項目を確定します。
⑨	-	IR 信号受光部です。
⑩	L/R IN	オーディオエンベデッド オン/オフボタンです。(アナログ音声を HDMI 出力にエンベデッドします) エンベデッドオン:オレンジ色に点灯 エンベデッドオフ:青色に点灯
⑪	VOL + / -	HDMI 1/2 出力端子の音声出力の音量を調整します。(PCM 2CH 音声出力時のみに適用します)
⑫	DOWN	次のメニュー(操作メニューまたは出力フォーマット)項目に戻ります。
⑬	ESC	キャンセルボタンです。【ESC】ボタンを押すと前のメニュー階層に戻ります。

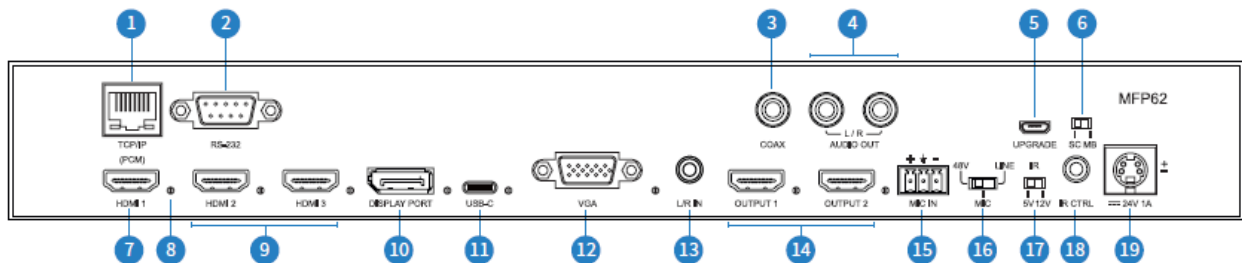
※ 本体ディスプレイに貼られたフィルムははがしてご利用ください(はがさないで使用するとタッチ動作がうまくできない恐れがあります)。

※ 本体ディスプレイのホーム画面のレイアウトは下記の通りです。



※ 60 秒間操作しない場合、ディスプレイ表示、および操作ボタン(電源タッチボタンを除く)は、消灯します。

背面



番号	端子・スイッチ	説明
①	LAN 端子(RJ-45)	ウェブ GUI または RS-232(Telnet)を使って、本機を制御します。
②	RS-232 通信端子	PC やサードパーティコントロールデバイスと接続しシリアル通信を通じて本機を制御できます。
③	同軸デジタル RCA (S/PDIF)出力端子	音声信号を出力します。
④	アナログ音声 RCA(L/R) 出力端子	音声信号を出力します。
⑤	Micro USB 端子	本機のファームウェアアップデートを行う時に使用します。
⑥	ファームウェアアップデート/ 通常モード切り替えスイッチ	ファームウェアのアップデートモードの切り替えスイッチです。 SC:本機スケーラ、MB:メイン基板
⑦	HDMI 1 入力端子	HDMIソース機器と接続します。※この端子は4K 60Hz 4:4:4 までの映像信号に対応し、音声信号はPCM 2chのみ対応します。(ドルビーなどの音声フォーマットに対応していません)
⑧	ステータスランプ	入力信号、または出力機器を検知した場合、各端子右側にあるステータスランプが青色に点灯します。
⑨	HDMI 2/3 入力端子	HDMIソース機器と接続します。※これらの端子は4K 60Hz 4:4:4 までの映像信号に対応し、音声信号はドルビーを含むマルチチャンネルの音声信号に対応しています。
⑩	DisplayPort 1.2 入力端子	DisplayPort ソース機器と接続します。※この端子は4K 60Hz 4:4:4 までの映像信号に対応しています。音声信号はPCM 2chのみ対応します。(ドルビーなど音声フォーマットに対応していません)
⑪	USB Type-C 入力端子	DisplayPort 1.2Alt モードに対応している USB Type-C ソース機器と接続します。※この端子は4K 60Hz 4:4:4 までの映像信号に対応しています。音声信号はPCM 2chのみ対応します。(ドルビーなど音声フォーマットに対応していません) ※USB Type-C 端子は USB Power Delivery (PD)電源供給に対応していません。
⑫	VGA 入力端子	VGA ソース機器と接続します。1080p を含む 1920x1200 までの映像信号に対応しています。
⑬	アナログ音声入力端子	3.5mm ステレオミニジャック端子で、外部音声をエンベデッドします。
⑭	HDMI 1/2 出力端子	ディスプレイ機器に接続します。2 つの HDMI 出力端子は同じ映像を出力します。
⑮	マイク入力用 ターミナルブロック端子	バランスまたはアンバランスマイクと接続します。48V ファンタム電源をマイクへ供給できます。(マイク入力モード切替スイッチで設定)

		※マイクと本機に接続する際、付属のターミナルブロック端子を加工する必要があります。 ※適切なマイク入力モードに切り替えて本機とマイクを接続してください。
16	マイク入力モード 切替スイッチ	マイク入力モードを 48V(ファンタム電源) / MIC / LINE に切り替えます。 ※適切なマイク入力モードに切り替えて本機とマイクを接続してください。
17	IR受信動作電圧切り替えス イッチ	IR 信号受信動作電圧 5V/12V を切り替えます。 ※付属の IR リモコンは5V で動作します。
18	IR信号受信ケーブル 接続端子	IR 信号受信 3.5mm ステレオジャックです。付属の 5V IR レシーバ(IRR)を 接続します。
19	電源入力端子	付属の AC アダプターを接続します。

入出力フォーマット一覧

入力フォーマット一覧(EDID)

EDID (Extended Display Identification Data)は、ディスプレイ機器とソース機器間で情報を交換するデータ形式です。このデータは、ソース機器に接続されているディスプレイ機器がどのようなオーディオフォーマットやビデオ解像度などに対応しているかの情報を提供します。EDID 制御にてこれらの情報をあらかじめ設定することで EDID ハンドシェイクに必要な処理を省きます。スイッチャーの EDID 設定は、MFP62 のフロントパネルにある本体ボタン、RS-232、またはウェブ GUI で設定できます。本機対応の EDID 一覧は以下の通りです。

本体ボタン、ウェブ GUI、RS-232 で設定できる EDID リスト	ウェブ GUI、RS-232 でのみ設定できる EDID リスト
HDMI 1920x1080p@60Hz, Audio 2ch PCM	HDMI 1920x1080p@60Hz, Audio 5.1ch PCM
HDMI 1920x1080i@60Hz, Audio 2ch PCM	HDMI 1920x1080p@60Hz, Audio 7.1ch PCM
HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 2ch PCM	HDMI 1920x1080i@60Hz, Audio 5.1ch PCM
HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 2ch PCM	HDMI 1920x1080i@60Hz, Audio 7.1ch PCM
HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 2ch PCM	HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 5.1ch PCM
HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 2ch PCM	HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 7.1ch PCM
DVI 1280x1024@60Hz, None Audio(音声なし)	HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 5.1ch PCM
DVI 1920x1080@60Hz, None Audio(音声なし)	HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 7.1ch PCM
DVI 1920x1200@60Hz, None Audio(音声なし)	HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 5.1ch PCM
HDMI 1920x1200@60Hz, Audio 2ch PCM	HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 7.1ch PCM
	HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 5.1ch PCM
	HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 7.1ch PCM

※ HDMI 1 入力端子は 4K 60Hz 4:4:4 までの映像信号に対応し、音声信号はPCM 2chのみ対応します。(ドルビーなど音声フォーマットに対応していません)

出力フォーマット一覧

本機は、接続する機器に合わせて出力映像信号を任意のフォーマットにスケーリング変換できます。本体【TIMING】ボタン操作、リモコン、ウェブ GUI または RS-232 で設定することができます。

本機対応の出力フォーマット一覧は以下の通りです。

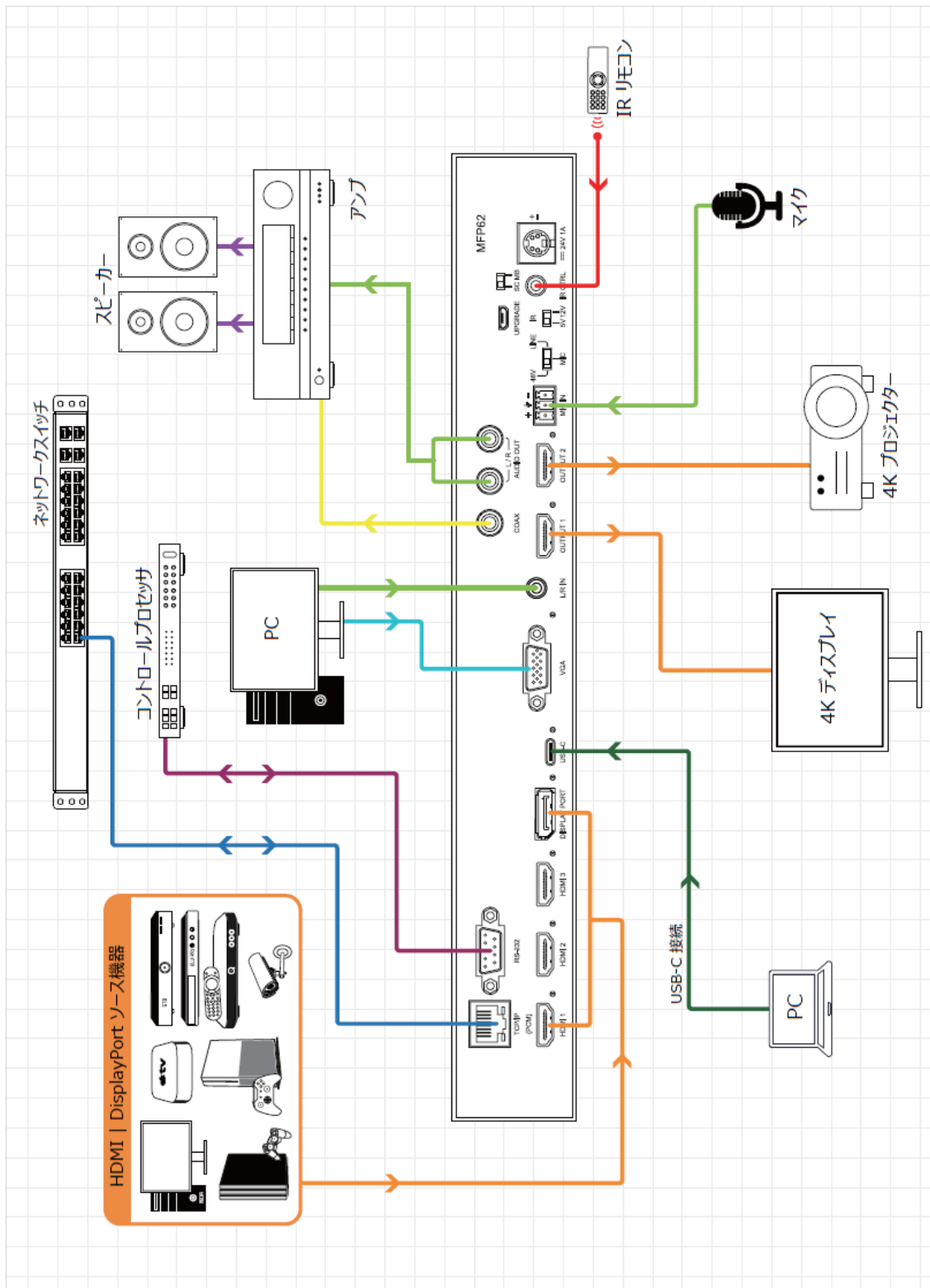
1024x768@60Hz /	1280x800@60Hz /	1360x768@60Hz /
1440x900@60Hz /	1680x1050@60Hz /	1920x1200@60Hz /
720p@50Hz /	720p@60Hz /	1080p@50Hz /
1080p@60Hz /	4K2K@25Hz /	4K2K@30Hz /
4K2K@50Hz /	4K2K@60Hz /	DCI 4K2K@25Hz /
DCI 4K2K@30Hz /	DCI 4K2K@50Hz /	DCI 4K2K@60Hz /
Auto(オート)		

※ 2つの HDMI 出力端子からは同じ解像度の映像が出力されます。

出力する映像周波数は、上記スケーリング可能なビデオフォーマットにて固定するか、「Auto(オート)」を選択し HDMI 1 出力に接続されたディスプレイの EDID 情報を元に設定できますが、以下の表ではディスプレイ EDID 情報を元に出力される周波数の一覧を示します。

ディスプレイ/EDID 解像度	入力周波数				
	60Hz	50Hz	30Hz	25Hz	24Hz
4K2K@25 / 30Hz	30Hz	25Hz	30Hz	25Hz	24Hz
DCI 4K2K@50 / 60Hz	60Hz	50Hz	30Hz	25Hz	24Hz
1080p@ 50 / 60Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	50Hz
720p@50 / 60Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	50Hz
1024x768@60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz
1280x800@60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz
1360x768@60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz
1440x900@60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz
1680x1050@60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz
1920x1200@60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz	60Hz

接続図



BLUStream

接続図 (例)
MFP62

- RS-232
- HDMI | DisplayPort™
- Cat 6
- USB-C
- VGA
- アナログオーディオ
- RCA同軸 (SPDIF)
- IR
- 光ファイバー

基本の操作

電源を入れる/切る

本機にソース機器やディスプレイ機器、その他の機器を接続して本体電源を点ける前に必ず以下をご確認いただき、正しい手順で操作を行ってください。誤った手順で操作をすると、誤作動や故障の原因になる場合があります。

本機の電源を入切する時は、接続する機器及び本機の音量を最小に下げてください。

注意

コンデンサーマイクを使用するときは、マイク入力モード切替スイッチを 48V に切り替えしてご利用ください。に DC+48V のファンタム電源が供給されます。

ファンタム電源が不要な場合、MIC / LINE にスイッチを切り替えてください。

ファンタム電源をオン(48V)にする場合、本体や外部機器の故障、ノイズを防ぐために、次の内容にご注意ください。

本機出力音声の音量を最小にしてください。

電源を入れる手順

1. 本機に接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認し、付属の AC アダプターの DC プラグを電源入力端子に接続します。
2. 本機の電源を入れます(本体前面の電源タッチボタン/IR リモコン電源/RS-232 シリアル通信)。
3. ソース機器 → 出力機器の順に電源を入れます。

電源を切る手順

1. 出力機器 → ソース機器の順に電源を切ります。
2. 本機の電源を切ります(本体前面の電源タッチボタン/IR リモコン電源/RS-232 シリアル通信/ウェブ GUI)。

本体前面ボタンで操作する

本体前面ボタンで、入出力フォーマットの設定、入力ソースの切り替え、出力音声の音量調整、オーディオエンベデッド/ディエンベデッドの設定、ネットワーク設定の確認・変更などの操作を行うことができます。

出力フォーマットの設定

本体前面パネルの【TIMING】ボタンをタッチし、出力フォーマット設定モードに入ります。本体ディスプレイを確認しながら、【UP】【DOWN】ボタンで設定したい出力フォーマットに切り替え、【ENTER】ボタンをタッチし、新しい設定を適用します。



※ 出力フォーマット設定は出力解像度のみ変更できます。設定可能な解像度は本書「[P10 出力フォーマット一覧\(EDID\)](#)」をご参照ください。

※出力周波数が選択どおりに設定できない場合は、メニューの”出力周波数動作モードの設定(Freq Setting)”より、強制モード(Force)を選択してください。

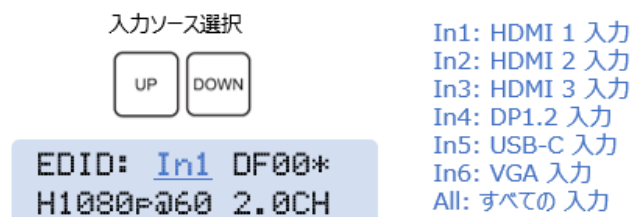
入力 EDID の設定

設定方法

1. 【MENU】ボタンをタッチして、‘2. EDID Setting’を【DOWN】ボタンで選択し、【ENTER】ボタンで確定します。



2. ‘In1’入力ソースが点滅した状態で、【UP】【DOWN】ボタンで設定したいソースを選択します。



つぎに【MENU】ボタンをタッチすると、入力 EDID 設定画面が表示されます。

3. 【UP】【DOWN】ボタン EDID 設定項目を選択し、【ENTER】ボタンで確定します。



DF00*	デフォルト	DF19	DVI1920x1080
DF03	H1080i@60 2.0CH	DF20	DVI1920x1200
DF06	H1080p3D60 2.0CH	DF21	H1920x1200 2.0CH
DF09	H4K@30 444 2.0CH	DF22	User EDID 1
DF12	H4K@60 420 2.0CH	DF23	User EDID 2
DF15	H4k@60 444 2.0CH	CP01	Copy Out1 EDID
DF18	DVI1280x1024	CP02	Copy Out2 EDID

注意

圧縮オーディオフォーマット(Dolby、DTS など)を使用している場合、MIC と圧縮オーディオの入力を自動で切り替える際に、遅延が発生することがあります。

4. 【ESC】ボタンを 2 回タッチし、ホーム画面に戻ります。

ホーム画面に戻る



EDID: In1 DF00*
EDID Set Success

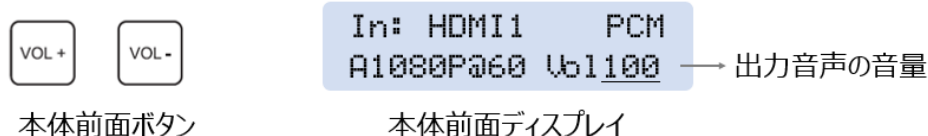
入力ソースの切替

入力ソース選択ボタン(【HDMI1】【DP】など)を切り替えことができます。
選択されている入力ソースボタンはオレンジ色に点灯し、その他は青色に点灯します。



出力音声の音量調整

本体の前面ディスプレイを確認しながら、音量調整ボタン【VOL+】【VOL-】で出力音声の音量を調整できます。



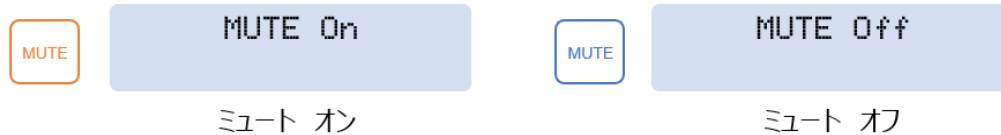
オーディオエンベデッドのオン/オフ切替

【L/R IN】ボタンでオーディオエンベデッドをオン・オフに切り替えます。



出力音声のミュートオン/オフ切替

【MUTE】ボタンでHDMI 1/2 出力端子の音声をミュートオン/オフに切り替えます。



注意

ミュートオン/オフ設定は HDMI 出力端子のみ適用します。RCA L/R 及び RCA 同軸デジタル出力には適用しません。

マイク入力の設定

マイク入力設定メニューの表示方法、設定値を確定する方法及びホーム画面に戻る方法



マイク入力設定 'MIC Setting' メニューで下記の項目を設定できます。

設定項目	説明	設定値
MIC Mix	マイク入力モードを設定します。	MIC And BG: マイク音声とバックグラウンド音声のミックスモード BG Only: バックグラウンド音声のみ MIC Only: マイク音声のみ 初期設定値: MIC And BG
MIC Mute	マイク入力のミュートのオン/オフを設定します。	On: ミュートオン Off: ミュートオフ 初期設定値: Off
MIC Volume	マイク入力の音量を設定します。	調整範囲: 0~100 調整単位: 1 ずつ 初期設定値: 100
MIC Auto BG	マイク使用時のバックグラウンド音声の自動抑制をオン/オフ設定します。	On: 自動抑制する Off: 自動抑制しない 初期設定値: On
MIC BG Vol	マイク使用時のバックグラウンド音声自動抑制後の音量を設定します。	調整範囲: 0~100 調整単位: 1 ずつ 初期設定値: 80
MIC BG Raise	バックグラウンド音声元が元の音量に復帰するまでの時間を設定します。	調整範囲: 1~20 秒 調整単位: 1 秒ずつ 初期設定値: 2 秒

ネットワーク設定の確認・変更

ネットワーク設定メニューの表示方法、設定値を確定する方法及びホーム画面に戻る方法



操作方法



ネットワーク設定 ‘Network Config’メニューで下記の項目を設定できます。

設定項目	説明	設定値
NETW	本機ネットワークの動作モードを確認・設定します。	DHCP:動的 IP アドレス Statics:静的 IP アドレス 初期設定値:DHCP
IP	本機 IP アドレスを確認・設定します。	-
GW	本機のゲートウェイを確定・設定します。	-
SM	本機のサブネットマスクを確定・設定します。	初期設定値:255.255.255.000

注意

本機のネットワーク設定項目は、ネットワークスイッチへ接続してネットワーク構成を読み取った後、設定できるようになります。初期設定時、本機をネットワークスイッチに接続していない場合は、‘Network Loading.’と表示されます。

その他設定メニュー

出力周波数動作モードの設定(Freq Setting)

出力周波数の動作モードを設定します。

マイク入力設定メニューの表示方法、設定値を確定する方法及びホーム画面に戻る方法

設定項目



Auto Frequency
Auto

Auto Frequency
Force

Auto: ディスプレイの EDID と連動してする周波数

Force: 入力映像の周波数を変更せず出力する

自動入力切替の設定(Switch Setting)

新しく接続した機器の信号を検出して自動的に入力を切り替える‘オートスイッチ’機能をオン/オフに設定します。

マイク入力設定メニューの表示方法、設定値を確定する方法及びホーム画面に戻る方法



設定項目

On: 自動入力切り替えをする

Off: 自動入力切り替えをしない

Auto Switch Mode
On

Auto Switch Mode
Off

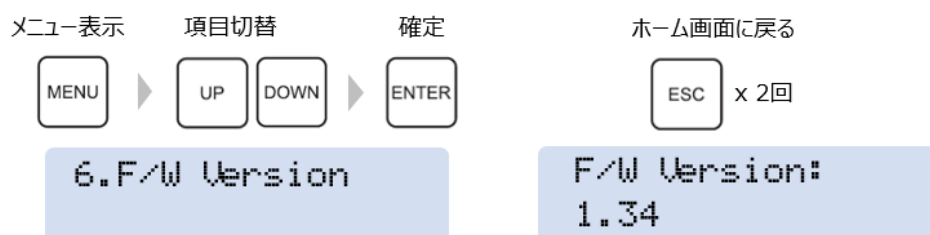


信号が検出されない入力ソースに切り替えた場合、一定の時間(約 5 秒)を過ぎると、信号が検出されているソースに自動的に切り替わります。また、入力をソースを取り外した場合(または入力信号を検知しなくなった場合)、入力ソース1~6の順にスキャンし、信号を検知した入力ソースに切り替えます。

本機ファームウェアバージョン情報の確認

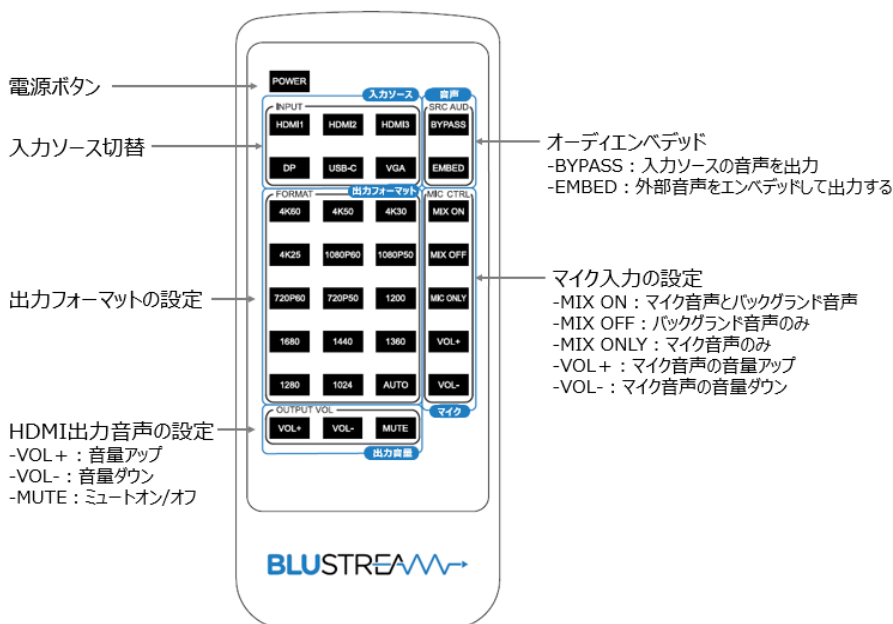
本機のファームウェアバージョン情報を確認します。

マイク入力設定メニューの表示方法、設定値を確定する方法及びホーム画面に戻る方法



IRリモコンで操作する

付属 IR リモコンの操作方法



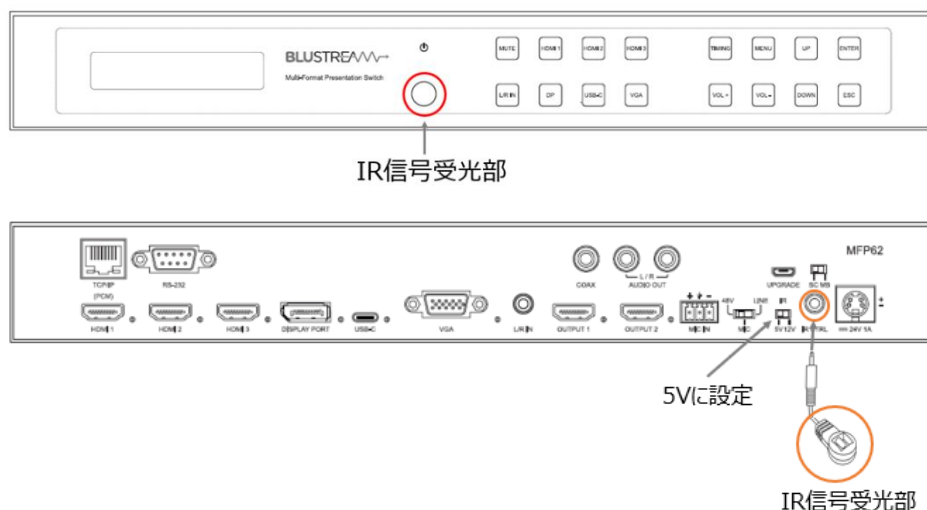
注意

IR リモコンは、本体 IR 受光部へ向けて操作してください。

操作する場所から IR 受光部との間に障害物がある場合は、操作を正しく認識しない場合があります。

また、受光部に強い光があたっていると、その光に受光部が反応して正しく認識しない場合があります。

なお、付属の IR リモコンは、押し続けても連続して動作することができません。



※ サードパーティ制御システムの12V IR コントロールに接続する際は、本機背面IR受信動作電圧切り替えスイッチを12V に設定した上で、3.5mm ステレオ to モノラル IR ケーブル(別売)をご利用ください。

ウェブ GUI で操作する

ウェブ GUI へのログイン

ウェブ GUI へのログイン手順

1. DHCP 機能対応のルーターに本機と PC を接続します。



注意

PC 及び本機の DHCP 機能をオンに設定してください。

2. 設定メニューで本機の IP アドレスを確認します。(操作方法はP16 「ネットワークの設定の確認・操作方法」をご参照ください)

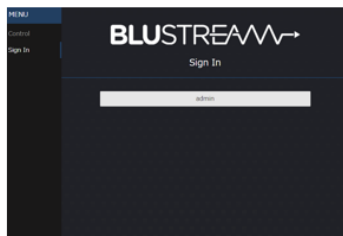
4. Network Config

NETW IP GW SM
XXX.XXX.XXX.XXX

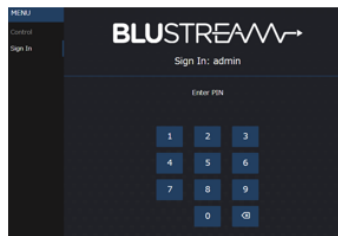
3. PC 側でウェブブラウザ(Microsoft Edge や Google Chrome)を立ち上げ、URL 入力欄に、本機の IP アドレスを入力し、ウェブ GUI にアクセスします。

4. ウェブ GUI の「Sign In」→「admin」順にクリックし、ログインパスコードをクリックします。

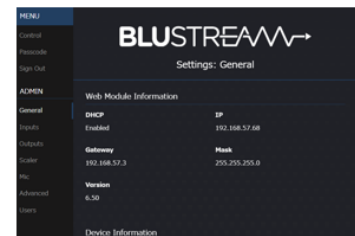
初期ログインパスコード: 1234



‘Sign In’ → ‘admin’ の順にクリック



ログインパスコードをクリック



ログインした後の画面

注意

本体前面ボタン、IR リモコンで行った操作後のステータス情報を更新するにはご利用のブラウザのページの更新を行ってください(Windows の場合、F5 キーを押してください)。

入力ソースの切り替え

ウェブ GUI 'Control' 設定メニューで下記の設定またはステータス情報の確認ができます。

Master Vol

Mic Vol

INPUT 1

INPUT 2

INPUT 3

INPUT 4

INPUT 5

INPUT 6

Audio Selection

Source Audio

Source Audio

Analogue Audio

Mic Audio Only

マスター出力音量調整

マイク音量調整

選択されている入力ソース
 -INPUT 1 : HDMI 1入力端子
 -INPUT 2 : HDMI 2入力端子
 -INPUT 3 : HDMI 3入力端子
 -INPUT 4 : DP 1.2入力端子
 -INPUT 5 : USB-C入力端子
 -INPUT 6 : VGA入力端子

出力音声選択
 -Source Audio : 入力ソース音声+マイク音声
 -Analogue Audio : 3.5mmステレオミニジャック入力音声+マイク音声
 -Mic Audio Only : マイク入力音声のみ

ウェブGUI - Control 設定メニュー

設定項目	説明	設定値
Master Vol	マスター出力の音量を調整します。	調整範囲: 0~100 初期設定値: 80
Mic Vol	マイク音声の音量を調整します。	調整範囲: 0~100 初期設定値: 100
入力ソース名	入力ソースを選択します。	INPUT 1:HDMI 1 入力端子 INPUT 2:HDMI 2 入力端子 INPUT 3:HDMI 3 入力端子 INPUT 4:DP 1.2 入力端子 INPUT 5:USB-C 入力端子 INPUT 6:VGA 入力端子 初期設定値:INPUT 1
Audio Selection	マスター出力音声のソースを選択します。	Source Audio:入力ソース音声+マイク音声 Analogue Audio:3.5mm ステレオミニジャック入力音声+マイク音声 Mic Audio Only:マイク入力音声のみ 初期設定値:Source Audio

入力 EDID の設定

ウェブ GUI ‘Inputs’ 設定メニューで下記の設定またはステータス情報の確認ができます。

設定項目	説明	設定値
Name	入力ソース名を確認または変更します。	英数符号のみ入力できます。
EDID	入力 EDID を設定します。	入力 EDID 一覧は「P.9 入力 EDID 一覧」をご参照ください。
HDMI Cable	入力信号の入力状況を表示します。	Disconnect: 入力信号未検出 Connected: 入力信号検出済み
Audio Signal	音声信号を選択します。	Original: 入力ソース元の音声 Analogue L/R Input embedded: 3.5mm ステレオミニジャック入力音声 初期設定値: Original

入力ソース名
(英数符号のみ入力可能)

入力 EDID の設定
(入力 EDID 一覧は P9 参照)

音声信号の選定
-Original: 入力ソース元の音声
-Analogue L/R Input embedded: 3.5mm
ステレオミニジャック入力音声

入力信号検知ステータス
-Disconnect: 入力信号検出せず
-Connected: 入力信号検出済み

ウェブ GUI - Inputs 設定メニュー

出力の設定

ウェブ GUI ‘Outputs’ 設定メニューで下記の設定またはステータス情報の確認ができます。

カテゴリー	設定項目	説明	設定値
Global Output Control	From Input	入力ソースを選択します。	各入力ソース
	Mute	出力音声をミュートオン/オフに設定します。	Unmuted:ミュートオフ Muted:ミュートオン 初期設定値:Unmuted
	Auto Switch	オートスイッチ(自動入力切替)を有効/無効に設定します。	Enabled:有効 Disabled:無効 初期設定値:Enabled
Output1・2	Name	出力 1・2 のチャンネル名を確認または変更します。	英数符号のみ入力できます。
	HDMI Cable	出力 1・2 の接続ステータスを確認します。	Disconnect:ディスプレイに接続されていません Connected:ディスプレイに接続されています
	Output	出力1・2を有効/無効に設定します。	Enabled:有効 Disabled:無効 初期設定値:Enabled

ウェブGUI - Outputs 設定メニュー

入力ソースの選択

オートスイッチの設定
-Enabled:有効
-Disabled:無効

出力1のチャンネル名の確認・変更
(英数符号のみ入力可能)

出力2のチャンネル名の確認・変更
(英数符号のみ入力可能)

出力音声のミュート設定
-Unmuted:ミュートオフ
-Muted:ミュートオン

出力1・2の接続ステータス
-Disconnect:ディスプレイに接続せず
-Connected:ディスプレイに接続している

出力1の有効/無効設定
-Enabled:有効
-Disabled:無効

出力2の有効/無効設定
-Enabled:有効
-Disabled:無効

出力フォーマットの設定

ウェブ GUI ‘Scaler’ 設定メニューで下記の設定またはステータス情報の確認ができます。

出力映像フォーマットの設定
(P10 出力フォーマット一覧を参照)

出力音声の音量調整

出力音声の選択
-Original : 入力ソース元の音声
-Analogue L/R : 3.5mm
ステレオミニジャック入力音声

出力音声フォーマットの確認

出力音声の音量モードの設定
-Bypass Scaler : ソース側で音量調整するモード
-Use Scaler Process : 本機側で音量調整モード

OSDの表示設定
※本機は対応していません

出力周波数動作モードの設定
-Force : オートモード
-Auto : 強制モード

ウェブGUI - Scaler 設定メニュー

設定項目	説明	設定値
Output Resolution	出力映像フォーマットを設定します。	設定値は P.10 出力フォーマット一覧をご参照ください。
Volume	出力音声の音量を調整します。	調整範囲: 0~100 初期設定値: 80
Audio Input	入力音声を選択します。	Original:入力ソース元の音声 Analogue L/R: 3.5mm ステレオミニジャック入力音声 初期設定値:Original
PCM Bypass	出力音声の音量モードを設定します。	Bypass Scaler:ソース側で音量調整するモード Use Scaler Process:本機側で音量調整モード 初期設定値:Use Scaler Process
Audio Format	出力音声フォーマットを確認します。	-
OSD	OSD表示を設定します。 ※本機はこの機能に対応していません。	-
Output Resolution Vertical Frequency	出力周波数動作モードを設定します。	Auto:オートモード Force:強制モード 初期設定値:Auto

入力マイクの設定

ウェブ GUI ‘Mic’ 設定メニューで下記の設定またはステータス情報の確認ができます。

出力音声種類の設定
 -Mix On : マイク音声 + バックグラウンド音声
 -Background Only : バックグラウンド音声のみ
 -Mic Only : マイク音声のみ

バックグラウンド音声自動減衰の設定
 -On : 自動減衰する
 -Off : 自動減衰しない

マイク音声信号ロス検出時間の設定

マイク音声の音量調整

バックグラウンド音声の音量調整

バックグラウンド音声減衰する時間の設定

バックグラウンド音声元音量に戻る時間の設定

ウェブGUI - Mic 設定メニュー

設定項目	説明	設定値
Mix Mode	出力音声の種類を設定します。	Mix On: マイク音声 + バックグラウンド音声 Background Only: バックグラウンド音声のみ Mic Only: マイク音声のみ
Microphone Volume	マイクの音量を調整します。	調整範囲: 0~100 初期設定値: 100
Auto Decrease Background	バックグラウンド音声自動抑制をオン/オフに設定します。	On: 自動抑制する Off: 自動抑制しない 初期設定値: On
Background Volume	バックグラウンド音声の音量を調整します。	調整範囲: 0~100 初期設定値: 80
MIC No Signal Detect Time(seconds)	マイク音声信号の未検出時間を設定します。	調整範囲: 1~20 秒 初期設定値: 2 秒
Ramp Up(seconds)	バックグラウンド音声元音量に戻る時間を設定します。	調整範囲: 0.5~10 秒(0.5 秒ずつ) 初期設定値: 1.5 秒
Ramp Down (Seconds)	バックグラウンド音声抑制する時間を設定します。	調整範囲: 0.5~10 秒(0.5 秒ずつ) 初期設定値: 3 秒

その他の設定

ネットワークの設定

ウェブ GUI ‘Advanced’ 設定メニューで下記のネットワーク設定の確認及び変更を行います。

設定項目	説明	設定値
DHCP	本機の DHCP 機能をオン/オフに設定します。 ※1	Enabled:有効 Disable:無効 初期設定値:Enabled
IP Address	本機の IP アドレスを設定します。※2	DHCP 機能オフ時の初期設定値: 192.168.0.200※3
Gateway	本機のゲートウェイを設定します。※2	
Subnet Mask	本機のサブネットマスクを設定します。※2	

- ※1 DHCP 機能を無効にするには、‘Save and Restart’ を選択してください。’ Save and Restart’ を選択するとウェブ GUI は自動的に更新されます。ウェブ GUI が更新している間は、新しいネットワーク設定を適用中のため、約 30 秒間ウェブ GUI を操作することはできません。
- ※2 IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを変更するには、本機の DHCP 機能をオフに設定してから IP アドレスを変更してください。
- ※3 DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられた状態で DHCP をオフに設定すると、割り当てられていた IP アドレスがそのまま引き継がれます。(初期設定値である 192.168.0.200 には戻りません)

DHCPの設定
-Enabled:有効
-Disabled:無効

ゲートウェイの設定

DHCPオフ時設定の適用

IPアドレスの設定

サブネットマスクの設定

ウェブGUI - Advanced 設定メニュー

IR 制御・前面タッチボタン制御・前面ディスプレイの常時表示の有効/無効設定

ウェブ GUI ‘Advanced’ 設定メニューで IR 制御・前面タッチボタン制御・前面ディスプレイの常時表示の有効/無効設定を行います。

IRリモコン制御の設定
-Enabled : 有効
-Disabled : 無効

前面ディスプレイ常時表示の設定
-Enabled : 常時表示する
-Disabled : 常時表示しない

フロントタッチボタン制御の設定
-Enabled : 有効
-Disabled : 無効

ウェブGUI - Advanced 設定メニュー

※ ネットワークの各種設定ステータス情報はウェブ GUI- ‘General’ 設定メニューで確認できます。

RS-232 通信設定

ウェブ GUI ‘General’ 設定メニューで RS-232 通信設定(ボーレート、Telnet 通信ポート)及び本機電源のオン/オフ設定を行うことができます。

本機の電源をオン/オフ設定
-On : 電源オン
-Off : 電源オフ

RS-232通信のボーレートの設定
-115200
-57600
-38400
-19200
-9600

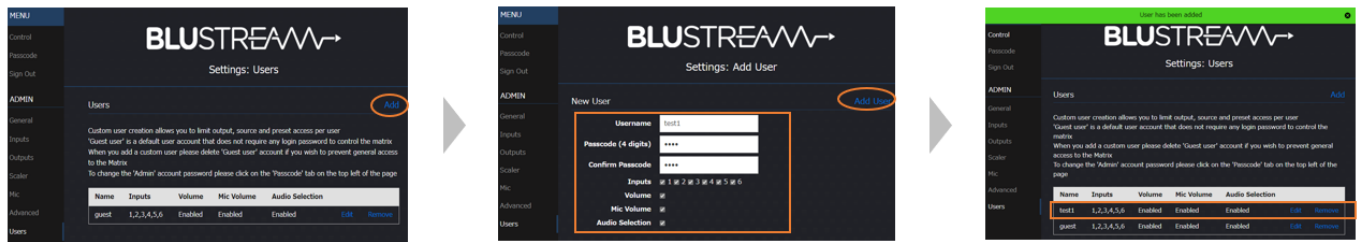
Telnet通信ポートの設定

ウェブGUI - General 設定メニュー

ウェブ GUI ログインアカウントの設定

ウェブ GUI ‘User’ 設定メニューでログインアカウントの新規追加、変更、削除を行うことができます。

ログインアカウントの新規追加方法



ウェブGUI – User 設定メニュー

1. ‘Add’をクリックします。
2. 必要な情報を入力し、‘Add User’をクリックします。
3. 新規作成したログインアカウントを確認します。

設定項目	説明	設定値
Username	ログインユーザー名を入力します。	半角英数のみ入力可能です。
Passcode(4 digitals)	ログインパスコードを入力します。	0～9 の半角数字の 4 桁を入力します。
Confirm Passcode	ログインパスコードを再度入力します。	
Inputs	設定可能入力ソース選択の権限を設定します。	チェックを入れる:設定権限あり
Volume	出力音声調整の権限を設定します。	チェックを外す:設定権限なし
Mic Volume	マイク音声調整の権限を設定します。	
Audio Selection	入力音声選択の権限を設定します。	

※ ログインアカウントの新規作成が完了すると、ウェブ GUI の上部分に ‘User has been added’ とメッセージが表示されます。

※ アカウント ‘guest’ はログインなしで設定変更可能なログインアカウントとなります。不要な場合は削除してください。

ログインアカウントのログインパスコード及び設定権限の変更方法

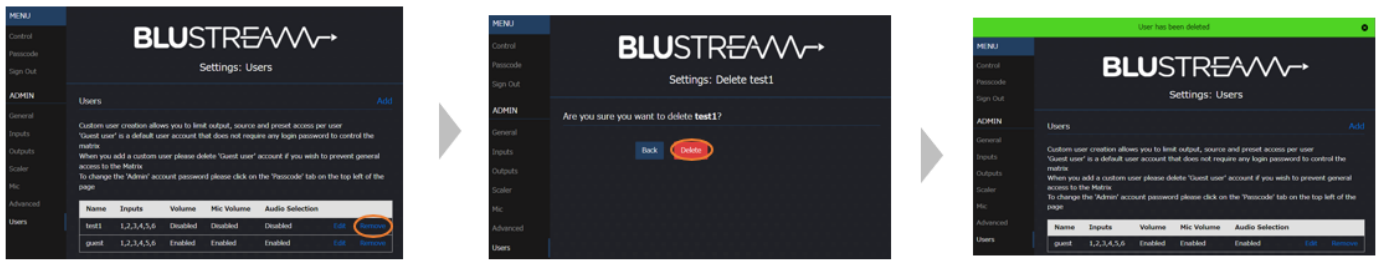


ウェブGUI – User 設定メニュー

1. 権限変更したいアカウントの‘Edit’をクリックします。
2. パスコードを変更した後、‘Update Passcode’をクリックします。
入力ソース選択や音量調整の権限を変更した後、‘Update Ports’をクリックします。
3. 変更した権限のステータス情報を確認します。

※ アカウントのログインパスコードや各種設定権限の変更が完了すると、ウェブ GUI の上部分に ‘User has been edited’ とメッセージが表示されます。

ログインアカウントの削除方法



ウェブGUI - User 設定メニュー

1. 削除したいアカウントの'Remove'をクリックします。
2. 'Delete'をクリックすると、アカウントが削除されます。
'Back'をクリックすると、アカウントパスワードや選択権限変更画面に移ります。
3. アカウントが削除されたのかを確認します。

※ ログインアカウントの新規作成が完了するとウェブ GUI の上部分に 'User has been deleted' とメッセージが表示されます。

本機ファームウェアバージョンの確認

ウェブ GUI 'General' 設定メニュー本機のファームウェアバージョンを確認することができます。



ウェブGUI - General 設定メニュー

設定のリセット

ウェブ GUI 'Advanced' 設定メニューでは、本機の設定をリセットできます。(各種設定は初期設定値に戻ります)



本機の設定をリセットする
(ネットワーク設定及びログイン
アカウント設定を除く)

ウェブGUI - Advanced 設定メニュー

本機すべての設定をリセットする
(ネットワーク設定及びログイン
アカウント設定を含むすべての設定)

※ 本機の設定をリセットすると、約 2 分間本機の実操作やウェブ GUI へのアクセスはできなくなります。

RS-232 で操作する

シリアル通信設定値

RS-232 シリアル通信で本機の設定や制御が行えます。
制御コマンドの一覧は本書「RS-232 及び Telnet コマンド」をご参照ください。
初期値は下記の通りです。

ボーレート:	57600
データビット:	8 ビット
パリティ:	なし(None)
ストップビット:	1 ビット
フローコントロール:	なし(None)

ボーレートは、ウェブ GUI 経由か RS-232 または Telnet 経由で以下のコマンド送信で変更可能です。

RS-232 及び Telnet コマンド

本機は、シリアル通信及び、TCP/IP 通信経由での設定や制御が可能です。利用可能なすべてのシリアルコマンドを以下のページに記します。

良くある失敗例

キャリッジリターン - ご利用になられるターミナルソフトウェアによっては、キャリッジリターン(改行)が必要、不要場合があります。一部のターミナルソフトウェアでは、トークン<CR>を使用してキャリッジリターンを実行するなど、ご利用になられるプログラムによって仕様が異なります。

- ・スペース(空白) - MFP62 はスペース(空白)を認識せず動作します。
例: '1' は '01' は同じとみなします。
 - 文字列のフォーマット: 'OUT01FR02'
 - サードパーティ制御システムのコマンド例: 'OUT{スペース(空白)}01{スペース(空白)}FR02'
- ・ボーレートまたはその他のシリアル通信プロトコルの設定間違い

システムインフォメーションコマンド

項目	送信コマンド	応答
コマンド一覧を取得する	?	コマンド '?'、'HELP' の応答例を参照してください
コマンド一覧を取得する	HELP	
システムステータス情報を取得する	STATUS	コマンド 'STATUS' の応答例を参照してください

```

=====
HDMI MFP62 Help Info
FW Version: 1.34

===== System Information Command
?          Print Help Information
HELP      Print Help Information
STATUS    Print System Status And Port Status
===== System Control Command
PON       Power On, System Run On Normal State
POFF      Power Off, System Run On Power Save State
.....

```

コマンド‘?’、‘HELP’の応答例

```

=====
HDMI MFP62 Status
FW Version: 1.34
Scaler Version: 1.24

Power  IR    Key   LCD
On     On   On    On

Input  Edid      RXcon   AudioSource
HDMI1  Default_00 On       Orginal
HDMI2  Default_00 Off      Orginal
HDMI3  Default_00 Off      Orginal
DP     Default_00 Off      Orginal
USB-C  Default_00 Off      Orginal
VGA    Default_00 Off      L/R Emb

Output FromIn   HdmiCon OutputEn  OSP  AUTO
01     HDMI1    On       Yes       SNK  On
02     HDMI1    Off      Yes       SNK  On

SCA Vol  Mute  Format  PCM  OSD  Freq  SetRes  OutRes
ORG  95  Off  PCM   SCA  ON   Force  09    09

MICMix Vol  Mute  AutoBG  BGVol  BGR  RUP  RDN
ON    56  Off  On     50    03   06    03

DHCP      IP          Gateway      SubnetMask
On        192.168.000.200 192.168.000.001 255.255.255.000
(static:  192.168.000.200 192.168.000.001 255.255.255.000)

Telnet    MAC
0023     34:D0:B8:20:2F:F6
=====

```

コマンド‘STATUS’の応答例

システムコントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
MFP62 を電源オンする	PON	[SUCCESS]Set system power ON, please wait a moment... Done	-
MFP62 を電源オフする	POFF	[SUCCESS]Set system power OFF.	-
MFP62 の IR 制御を有効/無効に設定する	IR ON/OFF	[SUCCESS]Set IR ON / OFF.	-
MFP62 のタッチセンシボタン制御を有効/無効に設定する	KEY ON/OFF	[SUCCESS]Set KEY ON / OFF.	-
MFP62 の前面ディスプレイ常時表示を有効に設定する	LCD ON	[SUCCESS]Set LCD always on in power on state.	-
MFP62 の前面ディスプレイ常時表示を無効に設定する	LCD OFF	[SUCCESS]Set LCD auto turn off in power on state.	-
MFP62 の設定をリセットする (ネットワーク設定及びログインアカウント設定を除く)	RESET	Sure to RESET system to default settings? Type "Yes" after next prompt to confirm...	Yes=実行 No= キャンセル
MFP62 すべての設定をリセットする	RESET ALL	Sure to RESET system and network to default settings? Type "Yes" after next prompt to confirm...	Yes=実行 No= キャンセル

入出力コントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
スケール出力 OSD 表示を有効/無効に設定する	OUT OSD ON/OFF	[SUCCESS]Set Scaler OSD Show ON/OFF.	-
出力解像度を設定する※	OUT RES rr	[SUCCESS]Set scaler output resolution to (rr)に該当する解像度).	rr=[00: 1024x768@60Hz 01: 1280x800@60Hz 02: 1360x768@60Hz 03: 1440x900@60Hz 04: 1680x1050@60Hz 05: 1920x1200@60Hz 06: 720P@50Hz 07: 720P@60Hz 08: 1080P@50Hz 09: 1080P@60Hz 10: 4K2K@25Hz 11: 4K2K@30Hz 12: 4K2K@50Hz 13: 4K2K@60Hz 14: DCI 4K2K@25Hz 15: DCI 4K2K@30Hz 16: DCI 4K2K@50Hz 17: DCI 4K2K@60Hz 18: Auto(自動)]
出力周波数モードを設定する	OUT FREQ mm	[SUCCESS]Set scaler output frequency mode auto/force at video timing.	mm=[AUTO:自動 FORCE:強制モード] ※詳細はP10「出力周波数モードをご参照ください」
HDMI 出力端子を有効/無効に設定する	OUT xx ON/OFF	[SUCCESS]Set output xx ON/OFF. (xx=01/02) または [SUCCESS]Set all output ON/OFF. (xx=00)	xx=[00: すべての出力端子 01: 出力端子 1 02: 出力端子 2]
入力ソースを選択する	OUT xx FR yy	Set all output connect from input yy.	xx=[00: すべての出力端子 01: すべての出力端子 02: すべての出力端子] yy=[01: 入力端子1 02: 入力端子2 03: 入力端子3]

04: 入力端子4
05: 入力端子5
06: 入力端子6]

オートスイッチ機能を有効/無効に設定する	OUT AUTO ON/OFF	[SUCCESS]Set OUT AUTO SWITCH MODE:ON/OFF.	-
出力端子 yy の EDID 情報を出力端子 xx にコピーする	EDID xx CP yy	[SUCCESS]Copy output xx edid to input yy	xx=[00: すべての出力端子 01: すべての出力端子 02: すべての出力端子] yy=[01: 入力端子1 02: 入力端子2 03: 入力端子3 04: 入力端子4 05: 入力端子5 06: 入力端子6]
入力端子の xx の EDID を zz に設定する	EDID xx DF zz	[SUCCESS]Set input xx edid with default edid zz.	xx=[00: すべての出力端子 01: すべての出力端子 02: すべての出力端子] zz=[入力 EDID フォーマット]※下記の「入力 EDID フォーマット一覧表を参照してください」
出力端子 yy の EDID 情報を User EDID ss として保存する	EDID Save yy TO user EDID ss	[SUCCESS]Save output yy edid to user EDID memory ss.	yy=[01: 入力端子1 02: 入力端子2 03: 入力端子3 04: 入力端子4 05: 入力端子5 06: 入力端子6] ss=[01: User EDID 1 02: User EDID 2]

※ 出力解像度を設定する “OUT RES rr” にて、設定した出力周波数にならない場合は、出力周波数モード設定 “OUT FREQ mm” にて mm=FORCE(強制モード)に設定してください。

入力 EDID フォーマット一覧表

zz	対応する EDID	zz	対応する EDID
00	HDMI 1920x1080p@60Hz, Audio 2ch PCM(初期設定値)	01	HDMI 1080p@60Hz, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
02	HDMI 1080p@60Hz, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD	03	HDMI 1080i@60Hz, Audio 2CH PCM
04	HDMI 1080i@60Hz, Audio 5.1CH DTS/DOLBY	05	HDMI 1080i@60Hz, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
06	HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 2CH PCM	07	HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
08	HDMI 1080p@60Hz/3D, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD	09	HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 2CH PCM
10	HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 5.1CH DTS/DOLBY	11	HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
12	HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 2CH PCM	13	HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 5.1CH DTS/DOLBY
14	HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD	15	HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 2CH PCM
16	HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 5.1CH DTS/DOLBY	17	HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 7.1CH DTS/DOLBY/HD
18	DVI 1280x1024@60Hz, Audio None(音声なし)	19	DVI 1920x1080@60Hz, Audio None(音声なし)
20	DVI 1920x1200@60Hz, Audio None(音声なし)	21	HDMI 1920x1200@60Hz, Audio 2CH / 5.1CH PCM
22	User EDID 1	23	User EDID 2

音声コントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
出力音声を入力ソースの元の音声に設定する	AUD SCA ORG	[SUCCESS]Set all input port original audio.	-
出力音声を外部入力アナログ音声(3.5mm ステレオミニジャック)に設定する	AUD SCA ANA	[SUCCESS]Set all input port embeded analog L/R.	-
入力ソースの音声はPCMフォーマットの場合、本機での音量調整を有効(SCA)/無効(BYP)に設定する ※HDMI 1入力、VGA 入力の音声は常に本機での音量調整は可能です。	AUD PCM SCA/BYP	[SUCCESS]Set PCM Audio, Use Scaler To Process. (SCA) または [SUCCESS]Set PCM Audio, Bypass To Output. (BYP)	-
入力yyの音声を入力ソース元の音声に設定する	AUD RX yy ORG	[SUCCESS]Set HDMI1 input port original audio.	yy=[01: 入力端子1 02: 入力端子2 03: 入力端子3 04: 入力端子4 05: 入力端子5 06: 入力端子6]
入力yyの音声を外部入力アナログ音声(3.5mm ステレオミニジャック)に設定する	AUD RX yy ANA	[SUCCESS]Set HDMI1 input port embeded analog L/R.	04: 入力端子4 05: 入力端子5 06: 入力端子6]
HDMI 1、2 出力端子の音声の音量を調整する ※RCA L/R出力端子、同軸デジタルRCA出力端子の音量は調整できません。	VOL xx	[SUCCESS]Set all output volume to 100. (xx=100) または [SUCCESS]Increase all output volume. (xx=+) または [SUCCESS]Decrease all output volume. (xx=-)	xx=[0~100:指定音量値 +: 音量を1上げる -: 音量を1下げる]
HDMI 1、2 出力端子の音声をミュートオン/オフ設定する ※RCA L/R出力端子、同軸デジタルRCA出力端子の音量は調整できません。	MUTE ON/OFF	[SUCCESS]Set all output audio mute ON/OFF.	-
出力音声の種類を設定する	MIC MIX mm	[SUCCESS]Set mix MIC and background audio. (mm=ON) または [SUCCESS]Set mix off, only use background audio. (mm=BGO) または [SUCCESS]Set mix off, only use MIC audio. (mm=MICO)	mm=[ON: マイク音声+バックグラウンド音声 BGO: バックグラウンド音声のみ MICO: マイク音声のみ]
マイクの音量を調整する	MIC VOL xx	[SUCCESS]Set MIC volume to [xx].	xx=[0~100:指定音量値 +: 音量を1上げる -: 音量を1下げる]
マイクの音量をミュートオン/オフにする	MIC MUTE ON/OFF	[SUCCESS]Set MIC audio mute on/off.	-
バックグラウンド音声自動減衰をオン/オフに設定する	MIC AUTOBG ON/OFF	[SUCCESS]Set MIC auto decrease background audio mode on/off.	-
バックグラウンド音声が減衰した後の音量をマイク音量のppパーセントに設定する	MIC BGVOL pp	[SUCCESS]Set MIC background audio volume to [pp].	pp=[0~100:マイク音量のパーセント値]
マイク音声信号ロス検出時間を設定する (この検出時間を過ぎた後、バックグラウンド音声は元々音量に徐々に戻ります)	MIC GBR dd	[SUCCESS]Set after speaking, the MIC takes [dd] seconds to raise the volume.	dd=[0~20:遅延時間、単位:秒]

バックグラウンド音声元が元の音量に戻る時間を設定する	MIC RUP rr	[SUCCESS]Set ramp up background audio volume time to [rr] second.	rr=[0: 0 秒 1: 0.5 秒 2: 1.0 秒 3: 1.5 秒 4: 2.0 秒 5: 2.5 秒 6: 3.0 秒 7: 3.5 秒 8: 4.0 秒 9: 4.5 秒
バックグラウンド音声減衰する時間を設定する	MIC RDN rr	[SUCCESS]Set ramp down background audio volume time to [rr] second	10: 5.0秒 11: 5.5 秒 12: 6.0 秒 13: 6.5 秒 14: 7.0 秒 15: 7.5 秒 16: 8.0 秒 17: 8.5 秒 18: 9.0 秒 19: 9.5 秒 20: 10.0 秒

ネットワーク設定コマンド

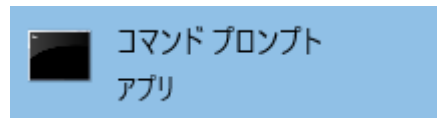
項目	送信コマンド	応答	パラメータ
本機の DHCP 機能を有効/無効に設定する ※1	NET DHCP ON/OFF	[SUCCESS]Set DHCP to ON/OFF . Use "NET RB" command or repower device to apply new config!!!	-
本機の IP アドレスを設定する ※1※2	NET IP xxx.xxx.xxx.xx	[SUCCESS]Set IP address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[IP アドレス] ※入力例:192.168.001.100
本機のゲートウェイを設定する ※1※2	NET GW xxx.xxx.xxx.xxx	[SUCCESS]Set gateway address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[ゲートウェイ] ※入力例:192.168.001.001
本機のサブネットマスクを設定する ※1※2	NET SM xxx.xxx.xxx.xxx	[SUCCESS]Set gateway address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[サブネットマスク] ※入力例:255.255.255.000
ネットワーク設定をリポートし、新しい設定を適用する	NET RB	-	
本機の Telnet 通信ポートを設定する ※3	NET TN xxxx	[SUCCESS]Set telnet port to [xxxx].	xxxx=[ポート番号] ※初期設定値=0023

- ※1 新しいネットワーク設定を適用するにはコマンド: NET RB でネットワーク設定をリポートする必要があります。
- ※2 本機の IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを設定する前に、本機の DHCP 機能を無効にする必要があります。
- ※3 Telnet 通信を行う機器側の設定に合わせて、本機の Telnet 通信ポートを変更してください。

Windows PC での Telnet 通信を行う前の設定

本機を PC で制御する際に問題が発生した場合は、以下の手順で操作を試してください。
(Windows10 の操作を例に説明します。)

1. PC を本機の LAN 端子に直接 LAN ケーブルで接続します。
2. サードパーティ制御システムと本機が通信する環境を再現するために、PC の IP アドレスを本機の IP アドレスと同じセグメントに設定してください。(「[PC の設定 - IP アドレス固定方法](#)」をご参照ください。)
3. コマンドプロンプト ‘cmd.exe’ を立ち上げます。



4. コマンドプロンプトに次のコマンドを入力します。“Telnet ‘+ ’ MFP62 の IP アドレス”
例: Telnet 192.168.0.200
下記のレスポンスコードが表示される場合、MFP62 との接続が確立していることを示します。

```
=====
Welcome To MFP62 Terminal Control System
FW Version: 1.34
Type "HELP" For More Information
=====
MFP62> _
```

Telnet 通信エラー

下記のメッセージが表示される場合は、PC は本機と接続が確立されていないことを示します。
‘telnet is not recognized as an internal or external command, operable program or batch file’

Telnet 通信エラーになる場合、下記の対策方法を試してください。

LAN 端子の IP アドレスが検知できない場合

LAN 端子の IP アドレスを検知できない場合は、DHCP モデムルーター経由ではなく、ネットワークスイッチに直接接続してください。

LAN 端子の IP アドレスは検知できるが、Telnet 通信が行えない場合

LAN 端子の IP アドレスを検知できない場合は、DHCP モデムルーター経由ではなく、ネットワークスイッチに直接接続してください。

上記の方法で Telnet 通信が確立されない場合は、PCのTFPT & Telnet を有効に設定してから、再度 Telnet 通信を試してください。(「[PC の設定 - TFPT & Telnet を有効にする](#)」をご参照ください。)

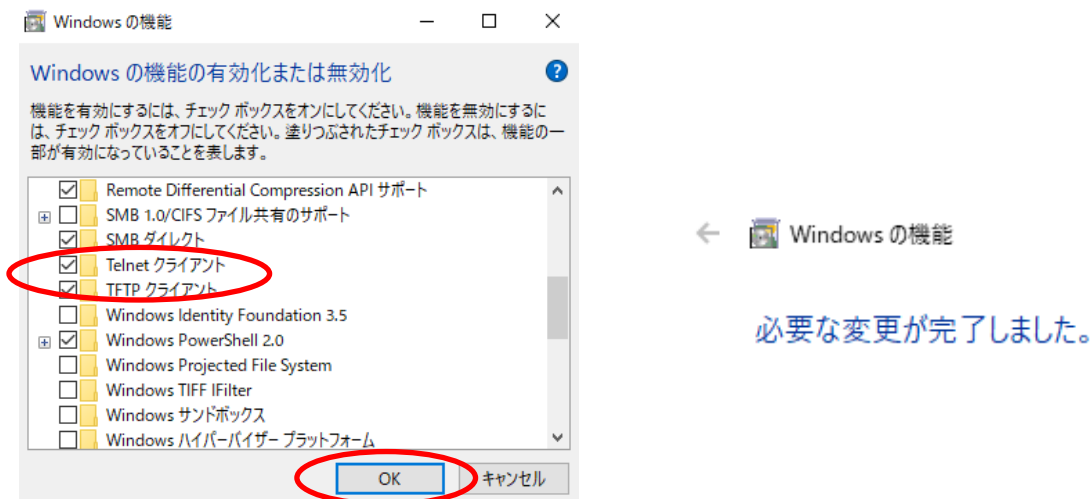
PC の設定 - TFTP & Telnet を有効にする

本機を Telnet でシリアル通信を行う前に、PC の TFTP と Telnet の両方の機能を有効に設定する必要があります。以下手順に従い TFTP と Telnet 機能を有効にしてください。(Windows 10)

1. PC のコントロールパネルを起動し、プログラム→プログラムと機能 の順に選択します。
2. 画面左側にある ‘Windows の機能の有効化または無効化’ を選択します。



3. ‘Windows 機能’ ポップアップ画面内の ‘Telnet Client’ 及び ‘TFTP Client’ にチェックを入れ、‘OK’ を選択します。



PC の設定 – IP アドレスの固定方法

本機との通信を確立するには、ご利用の PC の IP アドレスを本機の LAN 端子と同じ IP セグメントに設定されている必要があります。

初期 IP アドレス: 192.168.0.200

本機の IP アドレスは本体前面のディスプレイで確認できます。(確認方法は「」を参照してください)

PC の IP アドレス変更方法

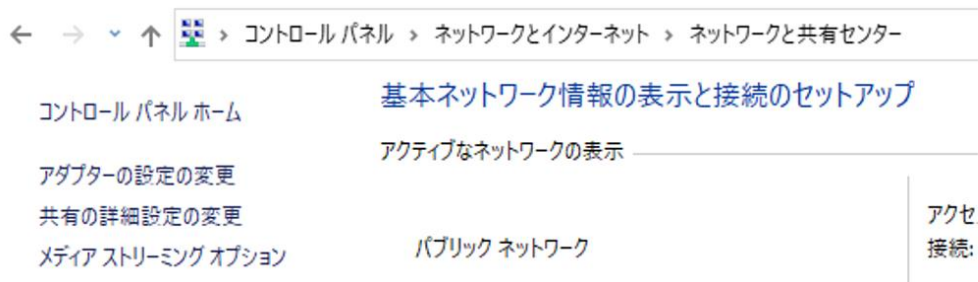
1. Windows ツールバーから‘コントロールパネル’を選択します。
2. ‘ネットワークインターネット’を選択します。



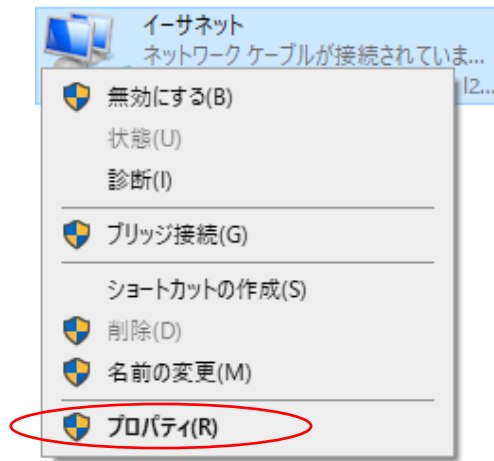
3. ‘ネットワークの状態とタスクの表示’を選択します。



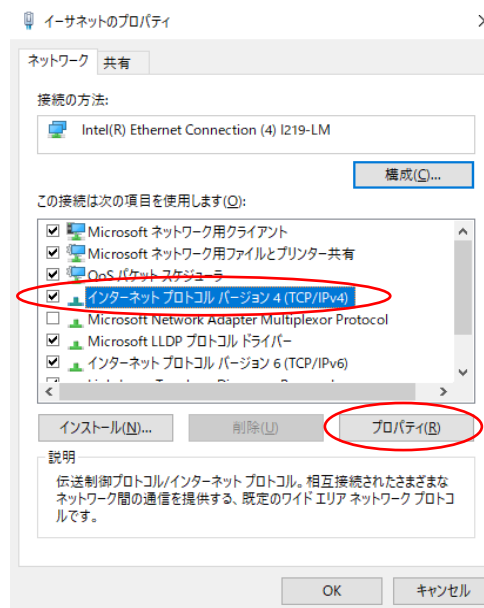
4. ‘アダプターの設定の変更’を選択します。



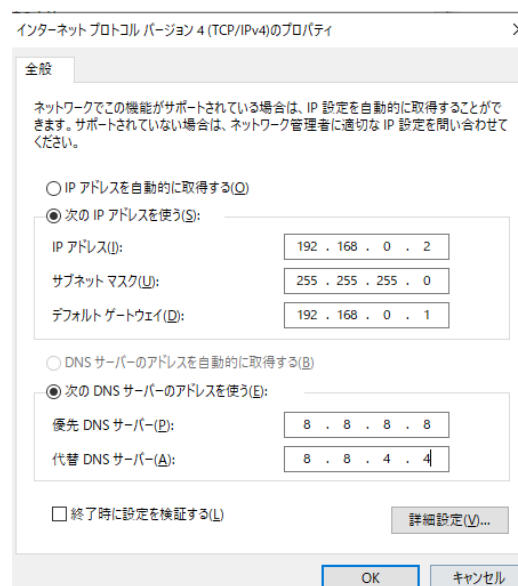
5. 'イーサネット' を右クリックし、'プロパティ' を選択します。



6. 'インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)' を選択し、'プロパティ' を選択します。



7. '次の IP アドレスを使う' にチェックを入れ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。'OK' → 'OK' の順に選択すると、新しい設定が適用されます。



FAQ よくある質問

故障かな?と思ったら、お問い合わせになる前に、まず、以下の点をご確認ください。

確認しても問題が解決しない場合は、お買い上げ販売店または、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

映像が入力されない、出力されない

本機の対応するフォーマットではない映像を入力されている可能性がありますので、入力映像のフォーマットと本機の対応するフォーマットを確認してください。

HDMI 1入力にドルビー音声対応映像を入力したが、音が出ない

HDMI 1 入力端子はドルビー音声に対応していません。HDMI 2 または 3 入力端子をご利用ください。

出力映像が砂嵐のようになっている

映像信号が正常に送受信できていない可能性があります。映像ケーブルを差し直す、もしくは各映像機器の電源を一旦切り入りしてください。

USB-C で映像が入力されない

USB-C で映像を本機に入力するには、下記の条件を満たす必要があります。

- ご利用の PC の USB-C 端子が、DisplayPort Alt モード 1.2に対応している
- 本機の対応する映像フォーマットを出力することが可能な PC を利用する
- ご使用の USB-C ケーブルが、通信用 USB 3.2 Gen1 または Gen2 規格に対応している

IR リモコンの音量ボタンを押し続けても、音量は 1 しか変わらない

付属の IR リモコンは同じ繰り返し(連続)操作には対応していません。

新しい電池を交換したのに、IR リモコンが動作しない

本機背面にある「IR受信動作電圧切り替えスイッチ」が5Vに設定しているかを確認してください。本機付属の IR リモコン及び IR 受信ケーブルは5Vで動作します。(12Vには対応していません)

HDMI 出力でコンデンサーマイクの音量が小さい

本機は RCA L/R または RCA 同軸(S/PDIF)出力端子をアンプに接続しスピーカーから音声を出力するという利用方法を想定した製品です。HDMI 出力でマイクの音量が小さい場合は、マイクアンプなどの機器でゲインを調整してご使用ください。

本体設定、IR リモコン設定値とウェブ GUI の設定値が一致しない

本体前面ボタン、IR リモコンで行った操作後のステータス情報がウェブ GUI に反映するまでに数秒間掛かります。最新の設定値は、ページの更新(Windows の場合、F5 キーを押す)をしてご確認ください。

本体のタッチパネルで操作ができない

タッチパネルの操作が無効になっている可能性があります。タッチパネルを有効に設定してください。詳しくは P25「前面タッチボタン操作の有効/無効設定」をご覧ください。

主な仕様

型番		MFP62
入力端子	映像	HDMI タイプ A x3 DisplayPort 1.2 x1 USB-C x1 ※1 VGA(D-sub 15ピン)x1
	音声	3.5mm ステレオミニジャック x1 ※2 3ピンターミナルブロック x1 ※3
出力端子	映像	HDMI タイプ A x2
	音声	アナログ音声 RCA(L/R) x1 同軸デジタル RCA(S/PDIF) x1
コントロール		RJ-45 [10 BASE-T / 100 BASE-TX] x 1 (ウェブ GUI 用) D-sub-9ピン x 1 (RS-232 シリアル通信用) 3.5mm ステレオミニジャック(IR 受信ケーブル用) Micro USB x 1(ファームウェアアップデート用)
HDCP		2.2/1.4
HDR		対応
外形寸法(WxDxH)		344mm x 168 x 44mm (突起物を除く)
本体重量		約 2000g
動作温度		0℃～40℃
保存温度		-20℃～60℃
動作/保存湿度		10% ~ 90%(結露なきこと)
入力電源		DC 24V
消費電力		最大 12W
付属品		本体 x1 / IR リモコン x1 / IR 受信ケーブル x1 / AC アダプター x1 / 3ピンターミナルブロックアダプターx1 / ラックマウント取付キット(L字マウント x2、ネジ x8) x1 / 注意事項・保証書 x1
適合認証		FCC/CE/PSE(AC アダプターのみ)/RoHS
保証期間		ご購入から 3 年間

※1) USB-C は DisplayPort1.2Alt モードに対応しています。

※2) 外部音声入力は 3.5mm ステレオミニジャック、もしくは 3ピンターミナルブロックのどちらか 1つのみ入力できます。本体背面のスイッチで外部音声入力の切り替えを行います。

※3) 外部音声入力の 3ピンターミナルブロックを使用する場合は、付属の 3ピンターミナルブロックアダプターを加工してご利用ください。

※ HDMI、DisplayPort1.2、USB-C 端子は最大 4K UHD 60Hz 4:4:4 フォーマットに対応しています。

※ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

※ 本機はドルビーデジタルサラウンド、DTS デジタルサラウンドシステムを搭載しています。

※ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio、Dolby Vision、“AAC”ロゴ及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

※ DTS の特許については <http://patents.dts.com> をご覧ください。DTS 社からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、DTS とシンボルの組み合わせ、DTS:X および DTS:X ロゴは米国およびその他の国における DTS 社の登録商標または商標です。

© DTS, Inc. All Rights Reserved.

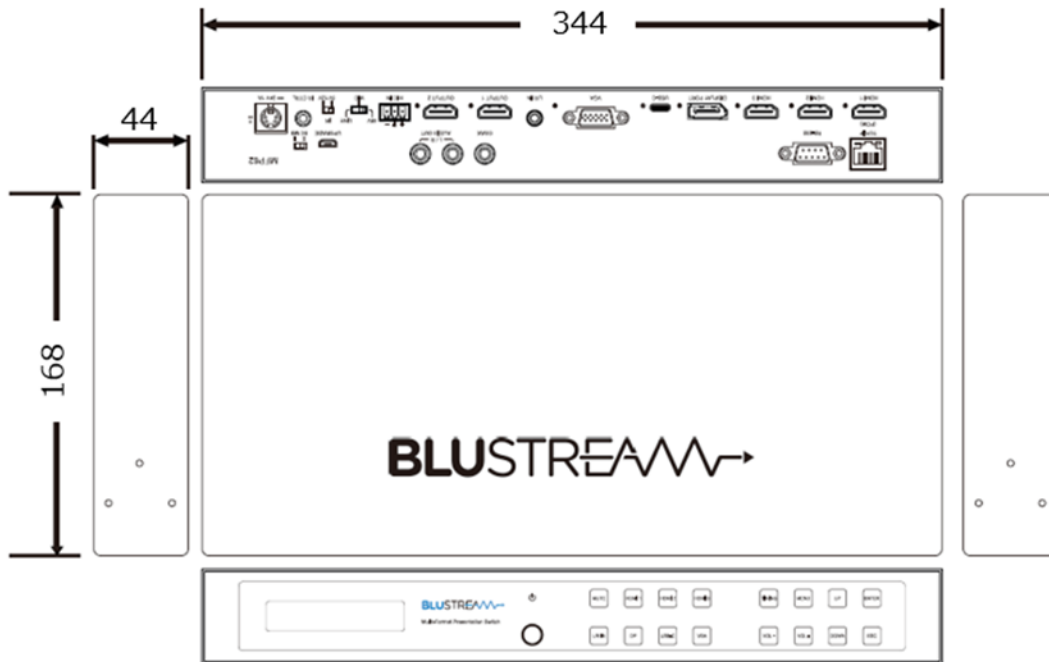
※ 記載されているソフトウェア名・製品名・サービス名などは各社の商標、または登録商標です。

※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

※ 外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

外形寸法

単位:mm



ラックマウント取付方法

本機は付属のラックマウント取付キットを使用して EIA ラックマウントに取付することができます。

取付方法

付属の L 字マウントをネジ計 6 本(付属)で下図の角度のように、本機の左右側面に取り付ける。



注意

- 通気性の良い場所に設置してください。
- 本機の上左右パネルにある排熱口をふさがないでください。
- 密閉型ラックに取り付けることを避けてください。
- 移動式ラックケースに取り付ける際、ケースの前後両面のふたを外し、本機の前後面をふさがないようにしてください。

サポート専用問い合わせ先

お問い合わせの前に…「FAQ よくある質問」をご参照ください。

www.ad-techno.com/support/info/faq/

それでも解決しない場合：

製品のお問い合わせ： www.ad-techno.com/support/info/contact/

修理のご相談： www.ad-techno.com/support/service/contact/

お問い合わせの際は以下内容をご確認ください。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状など)

注意

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。